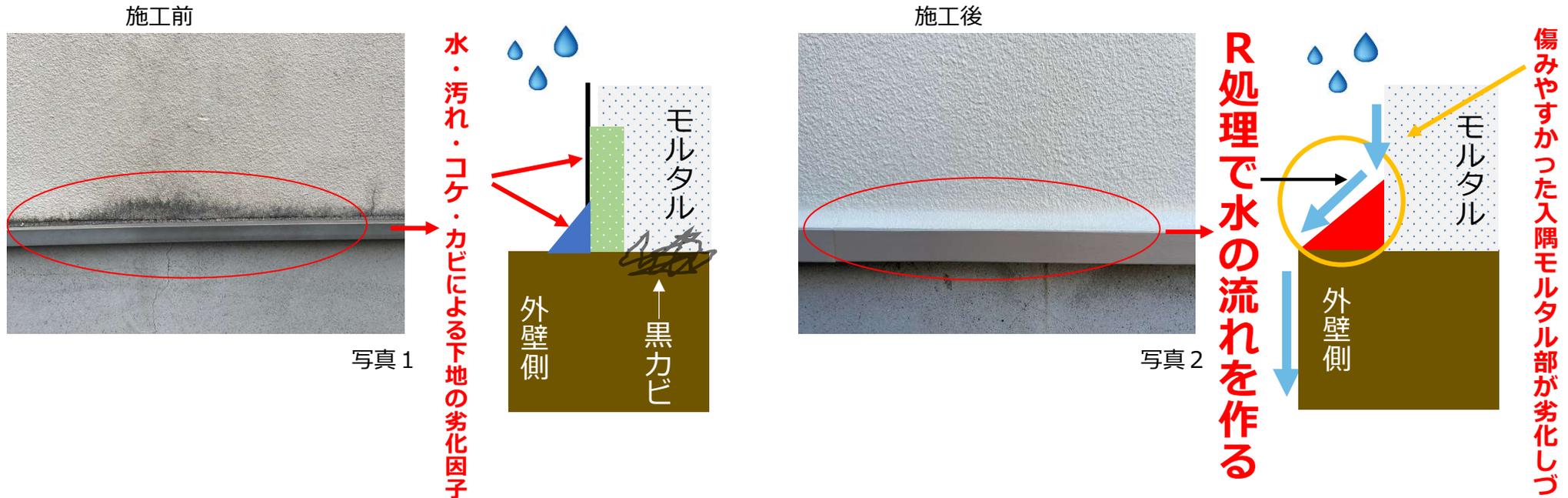


建物の経年劣化は平均的では無く、傷みが激しい部位と通常の経年劣化の部位が混在します。この傷みの激しい部位が、弱点部分となります。弱点部分の根本的な改善をしないまま塗装をしても、10年後に同じ部位は激しい傷みが生じます。お化粧品に例えると、ベースがしっかりしていなければ、ファンデーションのノリも悪く、落ちや崩れが早いのも同じように

塗装工事もベースが重要です。それでは、弱点部分の一例をご紹介します。

※建材によって弱点の場所と改善方法は変わります。



壁と水切り部分の入隅部分は、壁から流れてきた雨水、風が運んでくる埃や排気ガスがたまりやすく、コケやカビが発生し水分が停滞(写真1)します。外壁にとって水分が停滞することは、外壁材の劣化につながり、建物にとって致命的なダメージに発展することも少なくありません。そこで写真2のように入隅部分を水が流れるようにR状に加工し、水や汚れが溜まらない処置を行うことで、**建物の弱点をなくし、建物の寿命を延ばすことが可能**になります。

Point

水の流れを作ることは簡単ではなく、**長年研究して理想の角度や厚みを実現**しています。**弱点部分に対して真剣に考えているホリプロジェクトだからこそできる品質**があります。